

小項目ごとの検証・確認における論点整理

自己評価の区分		判断の目安
IV	年度計画を上回っている	計画の実施状況が100%超
III	概ね年度計画どおり実施している	計画の実施状況が90%超100%以下
II	年度計画を下回っている	計画の実施状況が60%超90%以下
I	年度計画を大幅に下回っている	計画の実施状況が60%以下

地方独立行政法人岐阜県立多治見病院

項目 No.	H26 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証									
		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	論 点	検 証 (案)								
02	<p>(2) 長時間勤務の改善等働きやすい環境の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 医師の業務負担軽減のため、医師事務作業補助者の追加配置を推進する。 看護師については、夜間専従看護師の採用、部分休業や短時間勤務の推奨により、ライフスタイルに柔軟に対応した勤務体制を整え、必要な人材の確保に努める。 職務に専念できる職場環境整備の一環として、院内保育所での夜間保育・休日保育・病児保育を引き続き実施するとともに、職員のニーズに応じた体制づくりに努める。また、利便性向上による利用者の増加及び利用時間の増加に対応するため、施設、備品等の整備を進める。 	<p>(2) 長時間勤務の改善等働きやすい環境の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 医師の負担軽減対策として、医師事務作業補助者の配置を拡充した。平成26年4月には31名(20:1)を配置し、10月までには39名(15:1)に増員とした。また、内視鏡センター及び化学療法室に新たに人員を配置したほか、NCD登録業務や内科の業務拡充に伴う人員を整備した。 ※NCD：一般社団法人 National Clinical Database 夜勤専従看護師の配置 <ul style="list-style-type: none"> 平成25年度に制度化した救命救急センター及び救急外来にかかる夜勤専従看護師（非常勤職員）について、平成26年度も引き続き救急外来に1名配置した。 短時間就労制の実施 <ul style="list-style-type: none"> 働き手のニーズに合わせて週1回、1日1時間以上の勤務を継続し、週20時間未満の勤務をしている非常勤職員を10名配置した。 また、正規職員においても育児部分休業及び育児短時間勤務を推奨し、21名が利用した。 <p>【育児部分休業及び育児短時間勤務利用者数】 (各年度末時点)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用者数</td> <td>8人</td> <td>16人</td> <td>21人</td> </tr> </tbody> </table>	区分\年度	H24	H25	H26	利用者数	8人	16人	21人	III	<p>評価の検討</p> <p>III→IV</p> <p>夜勤専従看護師の配置、短時間就労制の実施、休日保育の対応など、働きやすい職場環境に向けた努力は評価できる。</p> <p>IIIのまま</p> <p>年度計画どおり、働きやすい環境の整備に努めている。</p>	<p>「IV」</p> <p>夜勤専従看護師の配置、短時間就労制の実施、休日保育の対応など、働きやすい職場環境に向けた努力は評価できる。</p>
区分\年度	H24	H25	H26										
利用者数	8人	16人	21人										

項目 No.	H26 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																					
		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	論 点	検 証 (案)																				
		<ul style="list-style-type: none"> 平成25年から民間会社に委託している保育業務は、引き続き夜間保育及び休日保育を行うとともに、病児保育の利便性を向上させた。 医師の職場環境や勤務体制などの意見や要望を聞く場として、院長が医師面談を実施した。 <p>【夜間保育】</p> <ul style="list-style-type: none"> 毎週金曜日に対応可能 平成26年度実績 32回 <p>【休日保育】</p> <ul style="list-style-type: none"> 12月31日～1月3日を除く全ての日に対応可能 平成26年度実績 96回 <p>【院内保育所の運営状況】 (各年度末時点)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入所者数</td> <td>37人</td> <td>36人</td> <td>37人</td> </tr> <tr> <td>保育士数</td> <td>8人</td> <td>委託先に て必要人 数を配置</td> <td>委託先に て必要人 数を配置</td> </tr> </tbody> </table> <p>【病児保育利用実績】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>延人数</td> <td>20人</td> <td>84人</td> <td>96人</td> </tr> </tbody> </table>	区分\年度	H24	H25	H26	入所者数	37人	36人	37人	保育士数	8人	委託先に て必要人 数を配置	委託先に て必要人 数を配置	区分\年度	H24	H25	H26	延人数	20人	84人	96人			
区分\年度	H24	H25	H26																						
入所者数	37人	36人	37人																						
保育士数	8人	委託先に て必要人 数を配置	委託先に て必要人 数を配置																						
区分\年度	H24	H25	H26																						
延人数	20人	84人	96人																						
09	<p>(1) 待ち時間及び検査・手術待ちの改善等</p> <ul style="list-style-type: none"> 診療待ちによる患者のストレス緩和のための手法を検討する。 2階総合案内の会計機能を充実させ、会計の待ち時間短縮を図る。 患者待ち時間調査を実施し、現状分析による改善策を立案する。 案内業務が円滑に行えるよう専門知識の習得等、職員のスキルアップを図る。 開業医の訪問活動を精力的に実施し、紹介率向上に努めるとともに、限られた医療資源を有効に活用するため、当院と開業医の連携体制、役 	<p>(1) 待ち時間及び検査・手術待ちの改善等</p> <ul style="list-style-type: none"> 3月から中央採血室の稼働時間を15分早めて、患者の待ち時間の対策を行った。 早朝コンサルジュ業務を引き続き8時から2名を配置することや、委託業者と連携して積極的な患者案内などを行い、診療待ちによる患者のストレス緩和に努めた。 混雑状況を見ながら窓口機能(受付、計算、支払)を適宜変更し、待ち時間の短縮を図った。 点在する外来駐車場を効率的に運用するため、駐車場利用者が集中する午前中に、駐車場管理の警備員の増員をし、駐車場入庫待ちによる混雑解消を図った。 	III	<p>評価の検討</p> <p>III→IV</p> <p>年度計画を上回って達成している。</p> <p>IIIのまま</p> <p>年度計画どおり、待ち時間及び検査・手術待ちの改善等に取り組んでいる。</p>	<p>「III」</p> <p>年度計画どおり、待ち時間及び検査・手術待ちの改善等に取り組んでいる。</p>																				

項目 No.	H26 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																					
		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	論 点	検 証 (案)																				
	<p>割分担等を患者へ広報し、直来患者数の縮減を図る。また、開業医に対する逆紹介も積極的に推進する。</p> <p>・ 連携予約検査枠の拡大を行うとともに、放射線部職員も開業医の訪問活動に同行させ、より効果的な広報を行い、高度医療機器利用率の向上を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 2階総合案内にスタッフ 1 名を増員して会計機能を拡充し、それまで 1 階に集中していた会計業務を分散させることができた。 職員の患者案内業務の質の向上を目的として、「聴覚障がい者対応研修」を開催した。 参加者 22 名(事務職、看護師等) <p>【平均待ち時間の状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目\年度</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平均待ち時間</td> <td>23分</td> <td>24分</td> <td>23分</td> </tr> </tbody> </table> <p>※待ち時間は予約時間からの平均遅延時間</p> <ul style="list-style-type: none"> 逆紹介を推し進めるため、紹介状持参の促進と近隣のかかりつけ医との役割分担の違いについて各診療科の掲示板を利用して患者への周知の継続を行った。また、開業医の訪問活動を実施し、紹介率向上に努めた。 訪問件数 61 件 新規登録医数 8 件 CT、MRI などの検査枠の見直しをし、さらに開業医への訪問活動に中央放射線部の職員が同行して、CT、MRI などの検査依頼を行った。 <p>【CT、MRI 検査件数の比較】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>CT件数</td> <td>26,350 件</td> <td>27,896 件</td> <td>28,159 件</td> </tr> <tr> <td>MRI 件数</td> <td>8,646 件</td> <td>8,892 件</td> <td>9,392 件</td> </tr> </tbody> </table>	項目\年度	H24	H25	H26	平均待ち時間	23分	24分	23分	区分\年度	H24	H25	H26	CT件数	26,350 件	27,896 件	28,159 件	MRI 件数	8,646 件	8,892 件	9,392 件			
項目\年度	H24	H25	H26																						
平均待ち時間	23分	24分	23分																						
区分\年度	H24	H25	H26																						
CT件数	26,350 件	27,896 件	28,159 件																						
MRI 件数	8,646 件	8,892 件	9,392 件																						
10	<p>(2) 院内環境の快適性向上</p> <p>・ 順次整備を進めてきた院内の施設や設備について、維持管理に努めるとともに患者からの改善要望に対しては、その内容を精査した上で、対応する。</p> <p>・ 治療効果を高め、より快適な入院生活を送ることができるよう、引き続き献立・食材の変更を行う。</p> <p>・ 食欲不振で喫食量が低下した患者への聞き取りを実施し、喫食量増加を目指す。</p> <p>・ 栄養不良の疑われる患者に対して NST の介入</p>	<p>(2) 院内環境の快適性向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 中央診療棟の外来系統の空調機を整備し、外来患者等の快適性向上を図った。 治療効果を高め、より快適な入院生活を送ることができるよう、食種や、献立・食材の見直しを行った。 <ul style="list-style-type: none"> ① 嚥下食を 3 段階から 4 段階に細分化した。患者の嚥下状態に、より細かく対応することが可能となった。 ② 妊娠糖尿病患者用 6 分割食を見直した。 ③ 喫食調査より残量の多い 献立を変更、分量の見直しを行った。 栄養不良の疑われる患者に対し NST の早期介入に 	III		NST による患者へ食事の聞き取り調整などにより、きめ細かい医療の実現に努めていると評価できる。																				

項目 No.	H26 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																					
		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	論 点	検 証 (案)																				
	により早期改善を目指す。	<p>より栄養状態の改善に努めた。また、喫食量の低下した患者へ食事の聞き取り調整を行い、喫食量増加に努めた。</p> <p>【喫食量の低下した患者への個別聞き取り、NST介入件数の対前年度比較】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目\年度</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>個別聞き取り</td> <td>96件/月</td> <td>96件/月</td> <td>92件/月</td> </tr> <tr> <td>NST介入</td> <td>41件/月</td> <td>37件/月</td> <td>33件/月</td> </tr> <tr> <td>NST新規介入</td> <td>14件/月</td> <td>16件/月</td> <td>16件/月</td> </tr> </tbody> </table>	項目\年度	H24	H25	H26	個別聞き取り	96件/月	96件/月	92件/月	NST介入	41件/月	37件/月	33件/月	NST新規介入	14件/月	16件/月	16件/月							
項目\年度	H24	H25	H26																						
個別聞き取り	96件/月	96件/月	92件/月																						
NST介入	41件/月	37件/月	33件/月																						
NST新規介入	14件/月	16件/月	16件/月																						
17	<p>(1) 近隣の医療機関との役割分担の明確化と連携強化による紹介率・逆紹介率の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 外来待ち合いスペースに設置してある「医療連携登録医情報コーナー」を活用し、登録医の情報を提供するとともに、登録医等への訪問活動を継続的に実施する。 ・ 当院が急性期病院であることを地域の医療機関や住民に周知することにより、地域支援病院の指定に必要な紹介率・逆紹介率の確保を目指す。 ・ 近隣病院の診療体制を把握し、効率的な病病連携を推進する。 ・ 登録医等への訪問活動に放射線部職員が同行し、高度医療機器、開放病床の利用について、効果的なPRを行い利用の拡大を図る。 	<p>(1) 近隣の医療機関との役割分担の明確化と連携強化による紹介率・逆紹介率の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 外来待ち合いスペースに設置してある「医療連携登録医情報コーナー」を活用し、登録医の情報を提供するとともに、登録医等への訪問活動を継続的に実施した。 ・ 東濃可児地域にある8病院で「東濃・可児地域病病連携推進会議」を開催し、地域のそれぞれの持つ医療資源を繋ぎ、限られた医療資源を有効活用していく方を講じていく場として今後も進めて行くことした。 ・ 平成26年度の紹介率については、対前年比で4.0%増と大きく増え、紹介患者の案件数も、1,603件の増加となった。 ・ 医療連携予約の平日の受付時間を延長するとともに、土曜日の予約受付業務を開始した。 <p>【紹介率・逆紹介率】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>紹介率</td> <td>62.6%</td> <td>65.3%</td> <td>69.3%</td> </tr> <tr> <td>紹介案件数</td> <td>18,053件</td> <td>19,233件</td> <td>20,836件</td> </tr> <tr> <td>逆紹介率</td> <td>82.8%</td> <td>80.8%</td> <td>86.0%</td> </tr> <tr> <td>逆紹介案件数</td> <td>21,023件</td> <td>20,698件</td> <td>19,472件</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・ 登録医等への訪問活動に放射線部職員が同行し、高度医療機器の利用についてPRを行い、利用の拡大を行った結果、高度医療機器予約数は、増加となった。 	区分\年度	H24	H25	H26	紹介率	62.6%	65.3%	69.3%	紹介案件数	18,053件	19,233件	20,836件	逆紹介率	82.8%	80.8%	86.0%	逆紹介案件数	21,023件	20,698件	19,472件	IV		紹介率、逆紹介率ともに高い水準を維持しており、高く評価できる。
区分\年度	H24	H25	H26																						
紹介率	62.6%	65.3%	69.3%																						
紹介案件数	18,053件	19,233件	20,836件																						
逆紹介率	82.8%	80.8%	86.0%																						
逆紹介案件数	21,023件	20,698件	19,472件																						

項目 No.	H26 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																																	
		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	論 点	検 証 (案)																																
		<ul style="list-style-type: none"> 高度医療機器の予約状況の分析を行い、さらなる利便性の向上を図り、連携病院の医師が利用しやすい環境づくりを行った。 <p>【高度医療機器利用の年度比較】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機器名\年度</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>CT</td> <td>534件</td> <td>582件</td> <td>727件</td> </tr> <tr> <td>MR I</td> <td>478件</td> <td>537件</td> <td>560件</td> </tr> <tr> <td>R I</td> <td>110件</td> <td>124件</td> <td>113件</td> </tr> <tr> <td>PET</td> <td>91件</td> <td>78件</td> <td>54件</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> 開放病床の利用に関しても、かかりつけ医の意見を聴取しながら、さらなる利便性の向上を目指した結果、昨年度の34件から41件と増加した。 <p>【開放型病床利用の年度比較】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医科</td> <td>0件</td> <td>14件</td> <td>29件</td> </tr> <tr> <td>歯科</td> <td>9件</td> <td>20件</td> <td>12件</td> </tr> </tbody> </table>	機器名\年度	H24	H25	H26	CT	534件	582件	727件	MR I	478件	537件	560件	R I	110件	124件	113件	PET	91件	78件	54件	区分\年度	H24	H25	H26	医科	0件	14件	29件	歯科	9件	20件	12件			
機器名\年度	H24	H25	H26																																		
CT	534件	582件	727件																																		
MR I	478件	537件	560件																																		
R I	110件	124件	113件																																		
PET	91件	78件	54件																																		
区分\年度	H24	H25	H26																																		
医科	0件	14件	29件																																		
歯科	9件	20件	12件																																		
19	<p>(3) 地域の介護・福祉機関など退院後の療養に関する各種情報の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> 医療相談室会の定例開催などにより退院調整看護師と、医療相談員との緊密な連携体制を維持・強化し、退院支援の充実を図る。 退院前に医師や地域のケアマネージャーを交えた合同カンファレンスを開催し、地域との連携に努める。 	<p>(3) 地域の介護・福祉機関など退院後の療養に関する各種情報の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> 医療相談室会を1週間に1度行うよう定例化したことで退院調整看護師・各相談員が情報を共有し、連携を強化できた。 退院前に医師、看護師、地域のケアマネージャーを交えた合同カンファレンスを開催し、地域との連携を強化するとともに、安全・安楽に在宅療養できるよう支援を行った。 <p>【相談対応件数】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10,199件</td> <td>11,186件</td> <td>10,648件</td> </tr> </tbody> </table> <p>【合同カンファレンスの実績】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	H24	H25	H26	10,199件	11,186件	10,648件	H24	H25	H26				III		地域の介護・福祉機関などとの連携は、多治見病院の大きな特徴であるため、今後を期待したい。																				
H24	H25	H26																																			
10,199件	11,186件	10,648件																																			
H24	H25	H26																																			

項目 No.	H26 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価			評価委員会の検証														
		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項			自己 評価	論 点	検 証 (案)												
		351件	431件	346件															
24	<p>(5) 精神科医療・感染症医療</p> <ul style="list-style-type: none"> 結核、感染症病棟について引き続き、受け入れ体制を維持する。 精神科病棟の実績を検証し、より良い運用に努める。 精神、結核医療について院内外の理解を深めるための各種研修、啓蒙活動を行う。 精神科を設置している地域医療機関と東濃精神科医療連絡協議会を定期的に開催し、情報交換等による精神科医療の充実に努める。 	<p>(5) 精神科医療・感染症医療</p> <ul style="list-style-type: none"> 結核以外の2類感染症の受け入れ件数は0件であった。東濃地域における新型インフルエンザに係る検討会に参加し、受け入れ状況の確認ができた。引き続き結核、感染症病棟の受け入れ体制の整備、維持を行う。 行動制限最小化委員会を毎月開催し、患者の病状改善、行動制限の状況の適切性及び行動制限最小化のための検討を行った。 精神科病棟に入院している医療保護入院者の退院促進に向けた取り組みを推進するため、退院後の生活環境に関わる者や退院後の医療関係者などを参加者とした医療保護入院者退院支援委員会を設置した。 平成26年度 10回開催 患者18名支援 当院医師及び外部講師による感染症対策の研修会を、院内職員及び院外医療関係機関を対象に2回実施した。 7月29日 参加 494人 12月4日 参加 418人 ITC通信を隔月発行し、院内感染防止などの啓蒙を行った。 県が開催した新型インフルエンザ等発生における会議及び緊急連絡の訓練に参加し、情報共有と連絡体制の確認を行った。 平成25年度に作成した診療継続計画の内容の見直しを行い、感染対策委員会を通じて院内の周知を図った。 エボラ出血熱対策として、玄関等に帰国者へのポスター掲示と救急外来玄関前にある発熱待機室の利用の啓発をし、職員へも情報提供・周知を行った。 <p>【患者の受け入れ実績】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>病床\年度</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>結核、感染症</td> <td>1,933人</td> <td>2,283人</td> <td>3,023人</td> </tr> <tr> <td>精神科</td> <td>5,400人</td> <td>7,274人</td> <td>6,654人</td> </tr> </tbody> </table>			病床\年度	H24	H25	H26	結核、感染症	1,933人	2,283人	3,023人	精神科	5,400人	7,274人	6,654人	III	<p>評価の検討</p> <p>III→IV</p> <p>東濃地域で大規模な感染症対策の研修会を実施できていること、また結核、感染症の患者受け入れ実績を維持していることは評価できる。</p> <p>IIIのまま</p> <p>年度計画どおり実施している。</p>	<p>IV</p> <p>東濃地域で大規模な感染症対策の研修会を実施できていること、また結核、感染症の患者受け入れ実績を維持していることは評価できる。</p>
病床\年度	H24	H25	H26																
結核、感染症	1,933人	2,283人	3,023人																
精神科	5,400人	7,274人	6,654人																

項目 No.	H26 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																									
		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	論 点	検 証 (案)																								
33	<p>(1) 医学生、看護学生の実習受け入れ</p> <ul style="list-style-type: none"> 医学生の受け入れについては、引続き関連大学（名古屋大学、名古屋市立大学、岐阜大学等）から積極的に受け入れる。また、合同ガイダンスにも引続き参加し、当院のPRを行っている。 看護学生については、専門学校や大学から積極的に実習を受け入れる。 	<p>(1) 医学生、看護学生の実習受け入れ</p> <ul style="list-style-type: none"> 医学生については、名古屋大学、名古屋市立大学、岐阜大学など関連大学から積極的に受け入れた。 医学生に対するPRのためポートメッセ名古屋、じゅうろくプラザ、大阪、東京で開催された合同ガイダンスに参加し、研修医の募集を行った。 静岡県立静岡がんセンター認定看護師教育課程（緩和ケア分野）、富山県看護協会認定看護師教育課程（緩和ケア分野）、岐阜県立看護大学CNSコース（がん看護専門看護師）の学生を受け入れた。 看護学生やコメディカルの専門学校や大学から、積極的に実習を受け入れた。 <p>【項目3（9ページ）に記載】</p> <ul style="list-style-type: none"> 医学生の受け入れ状況 <p>【看護学生受け入れ実績】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>受け入れ元</th> <th>受け入れ状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>多治見看護専門学校</td> <td>357名</td> </tr> <tr> <td>県立看護大学</td> <td>77名</td> </tr> <tr> <td>中京学院大学</td> <td>84名</td> </tr> <tr> <td>東濃看護専門学校</td> <td>31名</td> </tr> <tr> <td>下呂看護専門学校</td> <td>18名</td> </tr> </tbody> </table> <p>【その他（コメディカル）の受け入れ状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>受け入れ部署</th> <th>受け入れ元・受け入れ状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>薬剤部</td> <td>愛知学院大学1名、岐阜薬科大学2名、金城学院大学2名 計5名</td> </tr> <tr> <td>中央放射線部</td> <td>岐阜医療科学大学10名、東海医療技術専門学校3名 計13名</td> </tr> <tr> <td>臨床検査科</td> <td>岐阜医療科学大学15名、名古屋大学1名 計16名</td> </tr> <tr> <td>リハビリテーション科</td> <td>日本福祉大学外14施設 計23名</td> </tr> <tr> <td>栄養管理部</td> <td>中部大学1名 東海学園大学2名 計3名</td> </tr> </tbody> </table>	受け入れ元	受け入れ状況	多治見看護専門学校	357名	県立看護大学	77名	中京学院大学	84名	東濃看護専門学校	31名	下呂看護専門学校	18名	受け入れ部署	受け入れ元・受け入れ状況	薬剤部	愛知学院大学1名、岐阜薬科大学2名、金城学院大学2名 計5名	中央放射線部	岐阜医療科学大学10名、東海医療技術専門学校3名 計13名	臨床検査科	岐阜医療科学大学15名、名古屋大学1名 計16名	リハビリテーション科	日本福祉大学外14施設 計23名	栄養管理部	中部大学1名 東海学園大学2名 計3名	IV		<p>県外から看護実習生を積極的に受け入れていることは高く評価できる。</p>
受け入れ元	受け入れ状況																												
多治見看護専門学校	357名																												
県立看護大学	77名																												
中京学院大学	84名																												
東濃看護専門学校	31名																												
下呂看護専門学校	18名																												
受け入れ部署	受け入れ元・受け入れ状況																												
薬剤部	愛知学院大学1名、岐阜薬科大学2名、金城学院大学2名 計5名																												
中央放射線部	岐阜医療科学大学10名、東海医療技術専門学校3名 計13名																												
臨床検査科	岐阜医療科学大学15名、名古屋大学1名 計16名																												
リハビリテーション科	日本福祉大学外14施設 計23名																												
栄養管理部	中部大学1名 東海学園大学2名 計3名																												

項目 No.	H26 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																					
		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	論 点	検 証 (案)																				
		<p>【学生の実習受入状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医学生</td> <td>10人</td> <td>9人</td> <td>22人</td> </tr> <tr> <td>看護学生</td> <td>525人</td> <td>602人</td> <td>567人</td> </tr> <tr> <td>コメディカル</td> <td>48人</td> <td>57人</td> <td>60人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>583人</td> <td>668人</td> <td>649人</td> </tr> </tbody> </table>	区分\年度	H24	H25	H26	医学生	10人	9人	22人	看護学生	525人	602人	567人	コメディカル	48人	57人	60人	合計	583人	668人	649人			
区分\年度	H24	H25	H26																						
医学生	10人	9人	22人																						
看護学生	525人	602人	567人																						
コメディカル	48人	57人	60人																						
合計	583人	668人	649人																						
36	<p>(2) 医師不足の地域の医療機関やへき地医療機関への診療支援など人的支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 国民健康保険上矢作病院に対し、定期的な医師の派遣支援を継続する。 へき地医療に関しては、岐阜県へき地医療支援機構の求めに応じ、随時医師の派遣を行う。 中津川市民病院をはじめとした他院からの依頼に応じ、可能な限り随時医師の派遣を行う。 	<p>(2) 医師不足の地域の医療機関やへき地医療機関への診療支援など人的支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 国民健康保険上矢作病院へ医師を週1日（当直業務を含む）延べ53人、研修医を1ヶ月に1名ずつ5ヶ月間派遣をした。 岐阜県へき地医療支援機構の求めに応じ、国民健康保険蛭川診療所へ、5日間、各1名の医師を派遣した。 中津川市民病院からの依頼に応じ、4/1 から 1/31 まで毎週木曜日に、医師（脳神経外科）1名（2名で隔週交代）を派遣した。 <p>【他の医療機関への人的支援の状況】（延べ日数）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>派遣先 医療機関名</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国保上矢作病院</td> <td>114日</td> <td>106日</td> <td>106日</td> </tr> <tr> <td>国保蛭川診療所</td> <td>4日</td> <td>5日</td> <td>4日</td> </tr> <tr> <td>中津川市民病院</td> <td>－日</td> <td>24日</td> <td>43日</td> </tr> </tbody> </table>	派遣先 医療機関名	H24	H25	H26	国保上矢作病院	114日	106日	106日	国保蛭川診療所	4日	5日	4日	中津川市民病院	－日	24日	43日	Ⅲ		東濃地域のへき地医療に大きく貢献している。				
派遣先 医療機関名	H24	H25	H26																						
国保上矢作病院	114日	106日	106日																						
国保蛭川診療所	4日	5日	4日																						
中津川市民病院	－日	24日	43日																						
45	<p>(5) 時差出勤制度の導入</p> <ul style="list-style-type: none"> 時差出勤や短時間勤務などの利用を促進し、勤務の負担軽減を図ることで、ワークライフバランスの推進を図る。 	<p>(5) 時差出勤制度の導入</p> <ul style="list-style-type: none"> 女性医師3名に短時間勤務制度（週20時間、30時間）を適用し、ワークライフバランスを支援し、女性医師の離職防止を図った。 	Ⅲ		今後も女性医師の離職防止に向けた取り組みを期待したい。																				
46	<p>(1) 弾力的運用の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成24年度に制度化した夜間専従看護師の配置、短時間労働制の実施、職場復帰支援プログラムを中心として、看護師確保対策を推進していく。 	<p>(1) 弾力的運用の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 7対1看護体制の実現を契機に、外来と病棟の看護師配置の充実を図った。 非常勤看護職員20人のライフスタイルとキャリア形成支援として、勤務時間延長を行った。 育児部分休業や短時間勤務制度を利用している看護職員の面接を行い、現状把握と今後の制度活用予定に 	Ⅲ		看護体制の強化に向けた取り組みは評価できる。今後も様々な取り組みを期待したい。																				

項目 No.	H26 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証									
		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	論 点	検 証 (案)								
		<p>ついて確認した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 看護体制の強化のため以下の取り組みを行った。 <ul style="list-style-type: none"> ① 夜勤専従看護師の配置 <p>平成25年度に制度化した救命救急センター及び救急外来にかかる夜勤専従看護師（非常勤職員）について、平成26年度も引き続き夜間専従看護師を救急外来に1名配置した。また、正規職員においても、職員の意見を十分に汲み取りながら、勤務表の作成を行った。</p> ② 短時間就労制の実施 <p>働き手のニーズに合わせ週1回、1日1時間以上の勤務を提案し、週20時間未満の勤務をしている非常勤職員を10名配置した。</p> <p>また、正規職員においても、育児部分休業及び育児短時間勤務を推奨し、21名が利用した。</p> ③ 職場復帰支援プログラムの実施 <p>復帰に不安を抱えている離職者のための託児付き復帰支援制度を実施することにより、新たに22名の非常勤看護師を採用した。（平成26年度末時点103名）</p> <p>【育児部分休業及び育児短時間勤務 利用者数】（各年度末時点）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用者数</td> <td>8人</td> <td>16人</td> <td>21人</td> </tr> </tbody> </table>	区分\年度	H24	H25	H26	利用者数	8人	16人	21人			
区分\年度	H24	H25	H26										
利用者数	8人	16人	21人										
52	<p>(1) 効果的な病床管理、医療機器の効率的な活用、DPCの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 平均在院日数、手術件数と入院収益、入院単価については引き続き分析を継続するとともに、新たに導入した分析システム「メディカル・コード」及び既存の「EVE」をあわせて活用することで、診療科別部門別原価計算分析、管理料等の算定率などの分析により、医療の質の向上に努めると同時に、診療と経営の現状把握、自院の立ち位置等を明確にする。 	<p>(1) 効果的な病床管理、医療機器の効率的な活用、DPCの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 平均在院日数、診療単価、新規入院患者数について継続して診療報酬委員会において検討を行い、在院日数のさらなる短縮とそれに伴う7対1看護体制を実現し、診療単価についても増加した。 後発医薬品（ジェネリック）の採用率の増加取り組みなどによりDPC機能評価係数Ⅱの大幅な増加を実現した。 平成25年度から開始した特別食提供率と栄養指導件数の増、術前等の口腔機能管理の実施について、さら 	IV		7対1看護体制の実現による診療単価の増加やDPC機能評価係数Ⅱの増加は高く評価できる。								

項目 No.	H26 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																																		
		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	論 点	検 証 (案)																																	
	<p>・診療報酬改定をふまえ、改定内容に対する自院の状況に関する分析を通じ、将来的な病院の方向性、問題点等を明確にするためのデータ分析について検討を進める。</p>	<p>なる取り組みを行い、医療の質の向上と算定件数増加を図った。</p> <p>特別食提供割合 H25 29.1% (小児、緩和除く) H26 32.3% (小児、緩和除く)</p> <p>入院栄養指導料算定件数 H25 1,436 件 H26 2,901 件 (管理栄養士 2名増)</p> <p>周術期口腔機能管理実施件数 H25 193 件 H26 435 件</p> <p>【病床管理状況の年度比較】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目\年度</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>病床稼働率 (%)</td> <td>79.7</td> <td>79.8</td> <td>75.8</td> </tr> <tr> <td>平均在院日数 (全体)</td> <td>12.9</td> <td>12.6</td> <td>11.5</td> </tr> <tr> <td>平均在院日数 (一般)</td> <td>12.4</td> <td>11.9</td> <td>10.9</td> </tr> <tr> <td>一日当たり外来患者数</td> <td>1,184</td> <td>1,220</td> <td>1,213</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">諸一人当たり 診療報酬</td> <td>入院 (全体)</td> <td>56,928</td> <td>58,710</td> <td>61,860</td> </tr> <tr> <td>入院 (一般)</td> <td>58,533</td> <td>60,926</td> <td>64,417</td> </tr> <tr> <td>外来</td> <td>13,411</td> <td>14,250</td> <td>14,829</td> </tr> </tbody> </table>	項目\年度	H24	H25	H26	病床稼働率 (%)	79.7	79.8	75.8	平均在院日数 (全体)	12.9	12.6	11.5	平均在院日数 (一般)	12.4	11.9	10.9	一日当たり外来患者数	1,184	1,220	1,213	諸一人当たり 診療報酬	入院 (全体)	56,928	58,710	61,860	入院 (一般)	58,533	60,926	64,417	外来	13,411	14,250	14,829			
項目\年度	H24	H25	H26																																			
病床稼働率 (%)	79.7	79.8	75.8																																			
平均在院日数 (全体)	12.9	12.6	11.5																																			
平均在院日数 (一般)	12.4	11.9	10.9																																			
一日当たり外来患者数	1,184	1,220	1,213																																			
諸一人当たり 診療報酬	入院 (全体)	56,928	58,710	61,860																																		
	入院 (一般)	58,533	60,926	64,417																																		
	外来	13,411	14,250	14,829																																		
55	<p>「2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置」で定めた計画を確実に実施することにより、業務運営の改善及び効率化を進めるなどして、中期目標の期間の最終年度までに、経常収支比率100%以上及び職員給与費対医業収益比率を50%以下とすることを目指す。</p>	<p>医業収益の増と経費節減などの努力によって、経常収支比率101.6%、及び職員給与費対医業収益比率50.6%となった。</p> <p>【経常収支比率・職員給与費対医業収益比率】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>経常収支</td> <td>105.8%</td> <td>104.0%</td> <td>101.6%</td> </tr> <tr> <td>職員給与費</td> <td>49.7%</td> <td>49.6%</td> <td>50.6%</td> </tr> </tbody> </table>	区分\年度	H24	H25	H26	経常収支	105.8%	104.0%	101.6%	職員給与費	49.7%	49.6%	50.6%	IV		<p>経常収支比率が年度評価を上回っており高く評価できる。</p>																					
区分\年度	H24	H25	H26																																			
経常収支	105.8%	104.0%	101.6%																																			
職員給与費	49.7%	49.6%	50.6%																																			
56	<p>(1) 医師の事務負担軽減のため、医師事務作業補助者の追加配置を推進する。</p>	<p>(1) 医師事務作業補助者を年度末までに40名に増員して医師の過密業務の軽減を図り、補助体制加算は昨年度の25:1から15:1となった。</p> <p>【項目47 (46ページ) に記載】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医師事務作業補助者配置部署 ・医師・看護師事務作業補助者数 	IV		<p>医師の業務軽減につながる医師事務作業補助者の増員は評価できる。</p>																																	

項目 No.	H26 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証													
		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	論 点	検 証 (案)												
57	<p>(2) 仕事と家庭の両立を支援するため、夜間保育・休日保育・病児保育を引き続き実施するとともに、職員のニーズに応じた体制づくりに努める。また、利便性向上による利用者の増加及び利用時間の増加に対応するため、施設、備品等の整備を進める。</p>	<p>(2) 平成25年4月から引き続き民間会社に保育業務を委託し、夜間保育及び休日保育を行うとともに、病児保育の利便性を向上させた。</p> <p>【項目2(8ページ)に記載】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夜間保育 ・休日保育 ・院内保育所の運営状況 ・病児保育利用実績 	III	<p>評価の検討</p> <p>III→IV</p> <p>院内保育所の運営に努力しており評価できる。</p> <p>IIIのまま</p> <p>年度計画どおり実施している。</p>	<p>「IV」</p> <p>院内保育所の運営に努力しており評価できる。</p>												
58	<p>(3) 7対1看護体制の導入のため、新規採用者の積極的な受け入れと離職防止に努め、必要な職員数を確保し、看護師の就労環境の整備に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就職ガイダンスについて、より看護師確保に効果的なガイダンスを選定し参加するとともに、学校訪問等を実施する。 ・継続的にインターネットや、新聞紙面への広告掲載、折込チラシ等、各種広報媒体を活用した募集活動を実施する。 ・高校生を対象としたふれあい看護体験を実施する。 ・仕事と家庭を両立させるため、育児部分休業の活用を推進する。 ・看護学生向けの奨学金制度を創設し、新卒者の確保に努める。 	<p>(3) 看護師の就労環境整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平均在院日数の短縮や医療連携の強化などにより7対1看護体制の実現し、より質の高い医療の提供が可能となった。 ・看護学生に対する奨学金制度として、看護職員修学資金貸付制度を創設し、51名に貸付を行った。 ・高校生を対象としたふれあい看護体験を、8月12日に実施した。(参加高校生 52人) ・修学資金制度や7対1看護体制を実現したことなどを学校訪問や広報媒体等によるPRをし、新規採用者の積極的な採用と受け入れを進め離職防止に努めた。 ・また、メンタルヘルス対策と就労環境の整備に今年度も積極的に関わった結果、全体の離職率は前年度より1.5%の減となった。 <p>【看護師の状況】(各年度末時点)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>常勤看護師数</td> <td>433人</td> <td>437人</td> <td>448人</td> </tr> <tr> <td>常勤准看護師数</td> <td>4人</td> <td>4人</td> <td>3人</td> </tr> </tbody> </table> <p>【項目2(8ページ)に記載】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・育児部分休業及び育児短時間勤務制度利用者数 	区分\年度	H24	H25	H26	常勤看護師数	433人	437人	448人	常勤准看護師数	4人	4人	3人	IV		<p>7対1看護体制の実現とともに、就労環境の改善や離職率の低下は評価できる。</p>
区分\年度	H24	H25	H26														
常勤看護師数	433人	437人	448人														
常勤准看護師数	4人	4人	3人														